

問1 和歌山県の特産品である南高梅の収穫では、木の下に網（ネット）を敷く方法が広く取り入れられています。10キログラムあたりの収穫作業を比較した資料において、手でもぎとる方法では約10分かかるとの対し、網に落ちたものを集める方法では約6分で済むという結果が得られているとき、この収穫法に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 長野公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 完熟すると自然に落下するという南高梅の特性を活かし、果実を傷つけずに効率よく回収している | 2. 機械で枝を激しく揺らして一斉に果実を落とすため、短時間で作業を終えることができる | 3. 手作業に比べて果実が傷つきやすくなるものの、出荷量を増やすために効率を優先している | 4. 網を敷くことで地面からの反射光を増やし、果実の色づきを早めて収穫時期を前倒している |
|---|---|--|--|

問2 大阪府と、その周辺に位置する兵庫県、奈良県、和歌山県の経済・人口統計を比較した記述として、正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1. 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺の3県を合わせた合計数よりも多い。 | 2. 大阪府は周辺の3県と比較して昼間人口よりも夜間人口の方が多く、典型的な住宅都市としての特徴を持っている。 | 3. 兵庫県、奈良県、和歌山県の3県はいずれも、大阪府と同様に夜間人口よりも昼間人口の方が多い。 | 4. 大阪府の企業数は周辺の3県とほぼ同等であるが、一つの企業あたりの従業員数が極端に多いため人口流入が起きている。 |
|--|---|--|--|

問3 近畿地方のある県は、紀伊半島に位置するという地理的条件を活かして果樹栽培に力を入れています。その生産統計において、生産量が全国第1位である「うめ」や、全国的に有名な産地である「みかん」などの栽培が盛んな都道府県を選択してください。（2019年 北海道公立入試 類似）

- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 和歌山県 | 2. 奈良県 | 3. 三重県 | 4. 徳島県 |
|---------|--------|--------|--------|

問4 日本の都市開発において、神戸市のように山地を削って住宅地を造成し、その土砂で海を埋め立てて人工島を築く手法がとられることがあります。1975年から1980年にかけて須磨区の人口が急増した背景にある、都市基盤整備と人口動態の関係を説明したものと最も適切なものを選びなさい。（2026年 神奈川公立入試 類似）

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 郊外の丘陵地に整備されたニュータウンにおいて、住宅団地への入居が開始されたため。 | 2. 都心部での再開発が完了し、職住近接を求める層が周辺区から流入したため。 | 3. 大規模な人工島の造成が完了し、区内の全住民が島内の新市街地へ移住したため。 | 4. 高速道路網の整備により、近隣県から農村部への逆都市化現象が起きたため。 |
|---|--|--|--|

問5 三重県の志摩半島に見られる複雑に入り組んだ海岸地形の名称と、その地域一帯に共通する気候の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2020年 岡山公立入試 類似）

- |                                |                                  |                                   |                                 |
|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。 | 2. 砂丘が発達しており、冬季は北西からの季節風により雪が多い。 | 3. カルスト地形が見られ、夏季は南東からの季節風により乾燥する。 | 4. 干拓地が広がっており、一年を通じて降水量が非常に少ない。 |
|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|

問6 1960年から1990年にかけての神戸市の人口推移を整理した資料によると、須磨区では1975年から1980年の間に人口が著しく増加しています。この時期に須磨区で実施され、人口増加の直接的な要因となった都市基盤整備事業として適切なものはどれですか。（2026年 神奈川公立入試 類似）

- |                                 |                                  |                                   |                                    |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 須磨ニュータウンなどの大規模な住宅団地の整備と入居の開始 | 2. 臨海部における鉄鋼業や造船業を中心とした阪神工業地帯の拡張 | 3. ポートアイランドなどの人工島への商業施設や研究機関の全面移転 | 4. バブル経済期の影響による中心市街地での高層マンション建設の急増 |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|

問7 滋賀県と奈良県の人口構成と推移を比較した調査において、一方の県では人口減少とともに、70歳代の割合が高い「高齢化」の傾向が顕著に見られました。この傾向が見られる県名と、その県における1998年から2018年にかけての人口推移の説明として正しい組み合わせを選びなさい。（2020年 佐賀公立入試 類似）

- |                                |                                |                                      |                                      |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 奈良県 — 2000年代前半をピークに減少傾向にある。 | 2. 滋賀県 — 2000年代前半をピークに減少傾向にある。 | 3. 奈良県 — 20年前から一貫して高い水準で人口が増加し続けている。 | 4. 滋賀県 — 20年前から一貫して高い水準で人口が増加し続けている。 |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|

問8 近畿地方の主要な経済・観光指標をまとめた資料によると、ある府県は宿泊施設数が非常に多く、大阪府に次ぐ高い商業規模を示しています。さらに、内陸部や北部の地理的条件を活かしたレジャー資源も豊富であるこの府県を選びなさい。（2014年 兵庫県公立入試 類似）

- |        |        |         |        |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 兵庫県 | 2. 奈良県 | 3. 和歌山県 | 4. 大阪府 |
|--------|--------|---------|--------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 完熟すると自然に落下するという南高梅の特性を活かし、果実を傷つけずに効率よく回収している	南高梅には「完熟すると自然に木から落ちる」という性質があります。あらかじめ地面に網を張っておくことで、落下時の衝撃から果実を守りつつ、熟した実だけを効率的に集めることが可能になります。これにより、一つひとつ手でもぎとるよりも作業時間が短縮され、農業の効率化につながっています。
問2	<b>答え 1</b> 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺の3県を合わせた合計数よりも多い。	大阪府は近畿地方の経済の中心地であり、約34.3万社という膨大な数の企業が立地しています。この数は、周辺の兵庫県、奈良県、和歌山県の企業数をすべて合計した数をも上回る圧倒的な規模です。このような経済基盤の集中があるため、周辺府県から多くの雇用を創出し、結果として昼間人口の流入を招いています。
問3	<b>答え 1</b> 和歌山県	和歌山県は紀伊半島の南西側に位置し、古くから斜面を利用した果樹園が広がっています。生産量が日本一である「うめ」は、みなべ町を中心にブランド化が進んでおり、「みかん」も有田市周辺などで大規模に栽培されています。同じ紀伊半島でも、奈良県や三重県と比較して、これらの果樹生産において圧倒的な数値を示しているのが和歌山県の特徴です。
問4	<b>答え 1</b> 郊外の丘陵地に整備されたニュータウンにおいて、住宅団地への入居が開始されたため。	神戸市の統計資料から読み取れる須磨区の急激な人口増加は、須磨ニュータウンという大規模な都市基盤整備の結果です。1970年代後半は、都市に流入した人口を収容するための住宅供給が喫緊の課題であり、自治体が主導して山地を切り開くなどの開発を行い、新しい住環境を整えたことが人口増加の決定的な理由となりました。
問5	<b>答え 1</b> リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。	三重県の志摩半島は、起伏の多い山地が沈水してできたリアス海岸が発達していることで有名です。この地域は太平洋側の気候に分類されるため、夏は海からの湿った季節風が吹き込み、雨が降るといふ気象的特徴を持っています。入試では地名や地形、気候区分を関連付けて理解することが求められます。
問6	<b>答え 1</b> 須磨ニュータウンなどの大規模な住宅団地の整備と入居の開始	神戸市須磨区では、1970年代後半に大規模な住宅団地である「須磨ニュータウン」への入居が本格化したことで、短期間に大幅な人口増加が見られました。このように、地方自治体による計画的な都市基盤整備は、特定の地域の人口動態に大きな影響を与えます。高度経済成長期からその後の安定成長期にかけて、都市部への人口集中に対応するために各地でこのようなニュータウン開発が進められました。
問7	<b>答え 1</b> 奈良県 — 2000年代前半をピークに減少傾向にある。	奈良県では1998年から2018年の統計において、2000年代前半に人口のピークを迎えた後に減少へと転じています。人口構成比においても、滋賀県が40歳代に厚みがあるのに対し、奈良県は70歳代の層が厚くなっており、高齢化が進んでいる状況が示されています。これに対し、滋賀県は同期間において人口増加を維持しています。
問8	<b>答え 1</b> 兵庫県	兵庫県は「日本の縮図」とも呼ばれるほど多様な気候と地形を持っており、有馬温泉や城崎温泉といった全国有数の宿泊拠点を抱えるため、統計上でも宿泊施設数が多くなっています。また、近畿地方における商業の中心である大阪府に隣接しており、神戸市などを中心とした高い小売販売額を維持していることが統計的な特徴です。